



内裏雛・江戸時代

魯山人寓居跡いろは草庵
上巳の節会
 3月～4月上旬

上巳とは、旧暦3月初めの巳の日の意味ですが
 のち3日に定まり、いまでは桃の節句や雛祭りという
 美しい呼び名で親しまれています。

上巳の節会を祝い、女の子の成長と幸せを祈る
 古今の雛がいろは草庵に集います。
 江戸時代の有職雛 明治、昭和の内裏雛…
 華やかな雛たちの宴をご覧ください。



越前和紙内裏雛・昭和時代

上巳の節会-おもてなし-
 3月1日(土)～3月4日(火)

桃の節句に合わせて、いろは草庵のおもてなしも特別仕様に。
 春を思わせる紫雲石「ほの花」を
 呈茶と合わせてお楽しみいただけます。

限定 各日15名様

料金 150円(入館料は別途必要)



桜のかがりがほのかに感じる紫雲石と青々しいういす豆
 が入った紫雲石のいずれかをお選びいただけます

〈企画展〉

魯山人の仕事

向付 いろいろ

令和6年12月5日(木)～令和7年4月1日(火)

茶懐石において、最初に供される膳の向こう側に盛り付ける料理と器のことを、
 向付と言います。膳の重要な要です。
 「器は料理の着物である」と残した魯山人らしく
 料理が一番映えるよう考えられた様々な向付は
 魯山人の美意識にあふれています。



魯山人寓居跡 いろは草庵

Iroha-souan — the old temporary abode of Rosanjin

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 水曜日(祝日を除く)
 観覧料 一般 560円 75歳以上 280円
 団体(20名以上) 460円
 高校生以下 無料



〒922-0242
 加賀市山代温泉18の5番地
 TEL 0761(77)7111 FAX 0761(77)7110
<https://iroha.kagashi-ss.com>